

第7次埼玉県保健医療計画に基づく病院整備計画の整備計画報告書

- 1 病院名：前川レディースクリニック
- 2 所在地（開設予定地）：川口市前川2丁目4-1,2
- 3 整備計画（増床）病床数： 12 床
（医療機能別内訳： 周産期医療 12床）
- 4 スケジュール

	項 目	完了（予定）年月
1	開設（変更）許可（医療法）	平成 32年 1月
2	建築（着工）	平成 31年 4月
3	建築（竣工）	平成 32年 3月
4	医療従事者の確保	平成 32年 1月
5	使用許可（医療法）	平成 32年 3月
6	開設（増床）	平成 32年 4月

5 整備方針、目標

○地域医療を支えていくために圏域で果たす役割、機能

誰もが安心して子供を産み育てることのできる環境づくりが推進されている埼玉県南部保健医療圏は、人口減少が始まった国内環境とは異なり、人口増加率は年4%（H24-H27）と増加傾向にあります。生産人口の構成比率も65.3%と埼玉県全体の62.5%と比較し、2.8%高いという特徴を有しており、今後も分娩取扱医療機関の増設は必要不可欠であるものと判断しております。加えて、平成28年度の南部医療圏での出生数を見て年間6,795人に対して、分娩取扱医療機関は13施設と少なく、通常分娩等を扱う医療機関として私共が増床することで、少しでも当医療圏の周産期医療に貢献して参る所存でございます。

○新たに担う役割

埼玉県内では平成14年に129ヶ所あった分娩取扱医療機関（産婦人科）が平成29年には92ヶ所まで減少し、出生場所の割合は診療所が48.0%、病院が50.6%となっております。しかしながら、平成27年には診療所が42.4%、病院が56.8%と診療所の割合が減少するなど、高度医療を担う病院の負担増加となっている状況が窺われております。従って、当院の目指す複数医師常勤且つ充実した施設と機材を揃え、普通分娩から帝王切開程度までの分娩を施せる有床診療所が出来ることで地域の周産期医療に貢献できると考えております。

○将来の方向性

埼玉県が目指している「身近な場所での出産から高度で専門的な医療」の身近な場所での分娩を私どもが担い、分娩リスクに応じた安全な医療を継続的に提供できる体制を整備し、県内（圏内）周産期医療施設と連携を行うことでハイリスク分娩に対応しながら各分娩取扱医療機関の役割分担を図りながら圏内の周産期医療に貢献することを目指して参ります。

○現在の体制で対応できていない患者と今後の見込み等

従前は医師数や病床数の関係から当院で受けられる分娩数は、平成28年度7床で年間分娩数が390件程であり、7床での分娩には限りがあり従前の環境では全ての患者様を受けられる余力はなく、やむ無く分娩をお断りすることも多々ございました。

平成28年度の南部医療圏での出生数を見ても年間6,795人と多く、今後も益々増加することは明らかであり、分娩取扱医療機関の強化が必要であると思われます。

従いまして当院も南部医療圏周産期医療の必要性を鑑み、新築増床（12床）による施設拡充と設備導入、常勤医師の増員を確保し通常分娩等を取扱う医療機関として少しでも当医療圏の周産期医療に貢献して参りたいと考えております。

【増床病棟】（※有床診療所についても準じて記載してください。）

病棟名	病床数	病床機能報告区分	平均在院日数	病床利用率
産科病棟	12床	急性期		
	一般/療養	入院基本料・特定入院料	有床診療所入院基本料3	
診療科 産婦人科				
患者の受入見込み （※名称、数値（人数、病床数に占める割合）について具体的に記入してください。）				
【増床前】 ・分娩取扱件数 年間 390人 満床時7床×365日 = 2,555日 年間分娩数390件×6日（平均在院数） = 2,340日 年間病床稼働率 91.5%		【増床後】 ・分娩取扱件数 年間 840人 増床時合計 19床×365日 = 6,935日（最大） 年間分娩数6,935日÷6日 （平均在院数） = 1,155人（最大） 当初想定病床稼働率 72.7% 年間分娩数 840人 目標想定病床稼働率 91.5% 年間分娩数 1,050人		
医療（介護）連携見込み （※具体的に記入してください。）				
【増床前】 ○紹介元：近隣他科の医療機関（婦人科含） 県外医療機関（里帰り出産） ○紹介先：川口市立医療センター、埼玉協同病院、済生会川口総合病院、蕨市立病院、戸田中央産院 等		【増床後】 ○紹介元：近隣他科の医療機関（婦人科含） 県外医療機関（里帰り出産） ○紹介先：川口市立医療センター、埼玉協同病院、済生会川口総合病院、蕨市立病院、戸田中央産院 等		

6 既存病棟の概要（※有床診療所についても既存病床がある場合は準じて記載してください。）

病棟名	病床数	病床機能報告区分	平均在院日数	病床利用率
産科病棟	7床	急性期	6日	91.5%
	一般/療養	入院基本料・特定入院料	有床診療所入院基本料3	
診療科 産婦人科				

診療実績

○手術の実施状況、がん・脳卒中・心筋梗塞等への治療状況、重症患者への対応状況、救急医療の実施状況、全身管理の状況など（急性期）

平成 28 年診療実績

月	入 院 （7床）		入 院 外	
	延患者数	1日平均	延患者数	診療実日数
4	134	5.6	1,401	25日
5	188	6.5	1,256	22日
6	144	5.8	1,305	26日
7	204	6.6	1,513	26日
8	149	5.2	1,318	22日
9	193	6.4	1,463	24日
10	153	5.8	1,599	25日
11	154	6.2	1,848	23日
12	177	6.0	1,562	24日
1	149	5.8	1,281	22日
2	130	6.3	1,210	23日
3	195	6.3	1,289	26日
合計	1,970		17,045	288日

平成 29 年診療実績

月	入 院 （7床）		入 院 外	
	延患者数	1日平均	延患者数	診療実日数
4	110	5.7	1,251	25日
5	162	6.5	1,186	22日
6	155	6.4	1,198	25日
7	157	6.8	1,325	25日
8	105	6.2	1,158	22日
9	149	5.8	1,164	23日
10	98	5.6	1,214	23日
11	143	6.6	1,518	20日
12	125	5.5	1,316	9日
1	130	5.8	824	17日
2	105	5.8	757	18日
3	111	6.8	869	22日
合計	1,550		13,780	251日

○急性期後の支援・在宅復帰への支援の状況、全身管理の状況、疾患に応じたリハビリテーション・早期からのリハビリテーションの実施状況など（回復期）
従前から当医院が実施している取組み

- ・母乳育児推進・助産師 24 時間駐在・育児相談・フリースタイル出産・母親学級
- ・両親学級・母乳外来などを実施

7 医療（介護）連携における課題、問題点

○急性期医療機関：「出口」となる医療機関は充足されているか

当医院対象外

○回復期、慢性期医療機関：市町村、ケアマネージャーとの連携状況、待機患者の状況、在宅への移行はスムーズに行われているか 等

当医院対象外